

SSH 通信では、SSHに関する情報を随時お知らせします。

▶SSH 第Ⅳ期（令和4～8年度）の4年目がスタートしました！

1. SSHは生徒全員が対象です

SSHとはSuper Science High schoolのことです。「先進的な科学技術、理科・数学教育を通じて、生徒の科学的能力や科学的思考力を培うことで、将来社会を牽引する科学技術人材を育成するための取組のこと」とされ、かつては理系生徒の取組が主体でした。しかし、文系の人ならサイエンスの知識は必要ないのでしょうか？理系の人なら哲学は必要ないのでしょうか？そうではありませんね。現在の社会問題は複雑であり、その解決のためには様々な視点が必要になります。文系・理系に関わらず、SSHの探究活動を通して様々な分野の学びに触れてください。SSH部はそのきっかけを提供します。

2. 第Ⅳ期のキーワードは「往還」

「往還」とは行ったり来たりすることを指します。「探究活動」と「学修活動」の往還を意識してみてください。「学修活動」とは普通の授業や部活動、学校行事などです。課題研究を中心とした探究活動で身に付けた力を学修活動に活かしてみましょ。学修活動の学びを探究活動でさらに深めてみましょ。きっと相乗効果が生まれるはずですよ。

3. 各学年へアドバイス

1年生

探究活動の手法を「学ぶ」時期です。課題研究においては、「何を課題に感じるか」という、皆さん自身のオリジナルな視点・感性が大切です。現在実施している「課題発見力養成講座」や10月に実施する「ふくしまフィールドワーク」、年末から始まる「ディベート大会」を通して、探究的なものの見かた（違和感に気が付く目）を育てましょ。希望者（40名程度）を対象に、つくば市の研究施設を訪れる「つくば研修」も夏休みに計画しています。積極的に応募してください。

2年生

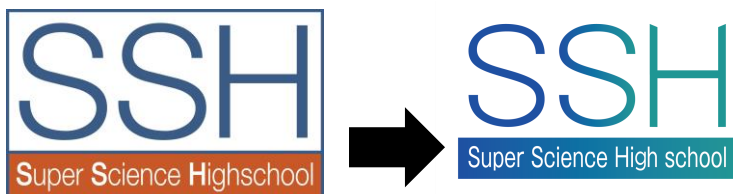
課題研究を「実践」する時期です。昨年身に付けた力を用いて、自分たちで「行動」を起こしてください。頭でっかちになり過ぎず、**まずやってみる、行動してみるというマインド**を大事にしてほしいと思います。オンライン研修はその良いきっかけになると思います。

研修旅行では、福岡県立城南高等学校との学校交流を設定しました。福島高校でなければ、課題研究をやっていなければ、実現不可能な交流です。課題研究を通じた他県の高校生との交流を楽しみにしてくださいね。他県に新しい友達ができるといいですね！大学で再会するかもしれません。

3年生

課題研究を「まとめる」時期です。まとめるというのは、単に研究を論文としてまとめることを指しているだけではありません。これまでの探究活動や学修活動で得られた学びを統合して「自分事」にすることです。今はまだこれまでの様々な経験が、自分の中でフワフワしている状態です。それらを自分事に落とし込む必要があります。これまでの経験はどのような意味があったのか、自分はどう変わったのか、この後どのように変わっていききたいのか。そして、それらを踏まえて社会とどう関わっていききたいのか、是非考えたり、言葉にしたり、文章にしたりしてみてください。

▶SSHのロゴが変更になりました！



旧ロゴが広く社会に認知されていることに鑑み、フォントや構成を概ね継承しました。外枠を取り除くことで枠にとられない取組を、複数の色がグラデーションしながら混ざることによって、多様なものが変化・変容し、融合していくことをイメージしています。（JSTより）

▶キャリア探究講座が行われました

4月17日（木）に1学年を対象としたキャリア探究講座が行われました。講師の渡辺正夫先生（東北大学大学院生命科学研究科教授）は、本校のSSH運営指導委員を長年に渡り務められており、毎年様々な場面でご支援いただいています。

今回は、「将来に向けたキャリア形成と『考える基礎』となる課題研究のあり方」をテーマに、渡辺先生のこれまでのキャリアや、高校で探究活動に取り組む意義などについて、大変分かりやすくお話しいただきました。

講演後の質疑応答では、熱い対話になる場面があり、たくさんの刺激を受けた講義になりました。

渡辺先生、お忙しい中ご講演いただきありがとうございました！



▶1年SS探究「課題発見力養成講座」が始まりました

4月23日（水）から1年SS探究で、課題発見力養成講座が始まりました。SSH活動を通じて育成したい力（探究力・研究力／傾聴力・発信力／完遂力／情報分析力／往還力）の基盤をつくるため、6月にかけて全7講座をクラスごとに順番に実施します。

講座	内容
①ウメタンシートの使い方講座	探究活動に活用するワークシートの使い方を学ぶ。
②校内エッグドロップコンテスト	エッグドロップのプロテクター作成を通じ、探究力を育成する。
③ディベート講習会	ディベートにより育成される力とディベートの方法を学ぶ。
④ビブリオトーク	書籍の魅力を伝えあう過程で、社会問題と自分を結び付ける力を育成する。
⑤STEAM講座	県立美術館を訪問し、芸術表現やSTEAMについて学ぶ。
⑥プレゼンテーション講座	昨年の生徒研究発表会から優れたプレゼンテーションについて学ぶ。
⑦フィールドワークの話し合い	フィールドワーク研修で学びたいことと希望訪問先をクラスで話し合う。

① ウメタンシート



②エッグドロップ



④フィールドワーク



▶SSH文庫 ぜひご利用ください！

3棟1階生物実験室前に、『SSH文庫』があります。科学系を中心に様々な本があり、誰でも借りることができます。



課題研究の参考に、勉強の合間の息抜きに、気軽に手に取ってみてください。

▶今後の主なSSH行事予定

- 5/4…サイエンスフェスティバル（ビッグアイ、SS部）
- 5/8,14,21,28…1年S探「課題発見力養成講座」
- 5/8,14…2年S探サイエンスリサーチ「研究計画書作成」
- 5/21,28…2年S探サイエンスリサーチ
「オンライン研修準備」、「オンライン研修」
- 5/8,14,21,28…3年S探サイエンスリサーチ
「研究論文ゼミ、英語プレゼン作成」
- 5/14,15…全国SSH発表会校内選考会（SS部）

※S探：SS探究